

デジタル KVM スイッチ(16 ポート)[PY-KVAD162]

1. 概要

本装置は、1 セットのモニタ／キーボード／マウスを複数のサーバで共有するための切替器で、16 台のサーバを切り替えることができます。本装置をカスケード接続することにより、接続できるサーバ数を増やすことができ、最大構成は KVM スイッチ 16 台で 256 台のサーバを切り替えることができます。本装置はラックの通常設置領域への搭載が可能です。(スタンダードラックの縦設置領域への搭載はできません。)



図 1 デジタル KVM スイッチ(16 ポート) 外観

2. 特長

① 簡単なインストールと操作

プラグアンドプレイインストールによりソフトウェアが不要。ステーション位置の自動認識。

コンピュータの選択はホットキーまたは多言語対応のオンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューを使用して行われる。

② 単一コンソールでの制御

1 つの USB KVM(キーボード、ビデオ、およびマウス)コンソールから最大 16 台(PY-KVAD162)のサーバにアクセスし管理することができる。

③ サーバへのアクセス

ローカルコンソールでのサーバ管理、アクセスに加え、セキュアなリモート端末からもサーバ管理、アクセスが可能。

④ ユーザーインターフェース

本装置は、ローカルポート UI と OBWI により接続サーバを切り替えます。ローカルポートにコンソールを直接接続することにより、ローカルポート UI を使用して GUI 感覚で KVM スイッチを管理できます。また、リモートの OBWI(On-Board Web Interface)を使用し、ローカルポート UI と同じ感覚で KVM スイッチを管理することができます。OBWI は Web ブラウザベースで、KVM スイッチから直接起動されます。

⑤ カスケード接続機能

本装置は、アナログ KVM スイッチとカスケード接続が可能で、将来のシステム規模拡大にも柔軟に対応することが可能。アナログ KVM スイッチ(8 ポート)とアナログ KVM スイッチ(16 ポート)の混在接続も可能で、接続サーバの台数にあわせた最適な構成が構築できる。最大 16 のスイッチに接続。KVM コンソールから最大 256 台 (PY-KVAA162) のサーバを管理。

⑥ UTP ケーブルによる接続(Cat5e/6)

1U システムラックに設置可能で、商業ビルや一般オフィスの内部ネットワーク配線を利用。

KVM アダプターケーブルをサーバに接続。KVM スイッチとデバイスの接続に USB インターフェイスを使用。

3. 仕様

名称			デジタル KVM スイッチ(16 ポート)
型名			PY-KVAD162
コンピュータ への接続部	サーバ接続数		16
	最大接続数(カスケード時)		256
ローカルユーザ			1
リモートユーザ			1
コネクタ	コンソール ポート (背面)	キーボード/マウス	2 x USB (黒)
		ビデオ	VGA D-Sub 15 ピン メス x1 (青)
	KVM ポート		16 x RJ-45 (黒)
ビデオ			1600x1200 @ 60Hz
I/P 定格			100～240VAC、50/60Hz; 1.0A
電力消費			15.6 W
環境	動作温度		0 ～ 50℃
	保管温度		-20℃～60℃
	湿度		0～80%、結露のないこと
特性	ケース		金属製
	質量/梱包時質量		2.6 kg / 4.0 Kg
	寸法：奥行 x 幅 x 高さ		42.4cm x 18.8cm x 4.25cm(19" 1U)

4. 各部構成

前面



図 2 デジタル KVM スイッチ(16 ポート) 前面

背面

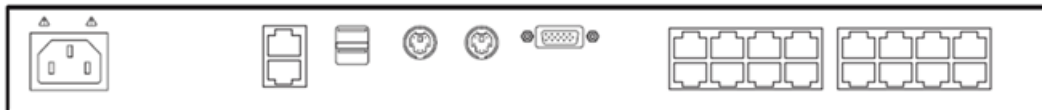


図 3 デジタル KVM スイッチ(16 ポート) 背面

5. 添付品

No	名称	数量	備考
1	M5 Screw	4	ラック搭載用ネジ
2	M5 Cage Nut	4	ラック搭載用ケージナット
3	L Bracket	1	本体取り付け用 L ブラケット
4	First Information	1	はじめにお読みください
5	Safety Notes	1	安全上のご注意
6	Quick start guide	1	クイックスタートガイド
7	China RoHS leaflet	1	中国 RoHS リーフレット



M5 Screw



M5 Cage Nut



L Bracket



Serial Cable

図 4 添付品

6. オプション関連(別手配品)

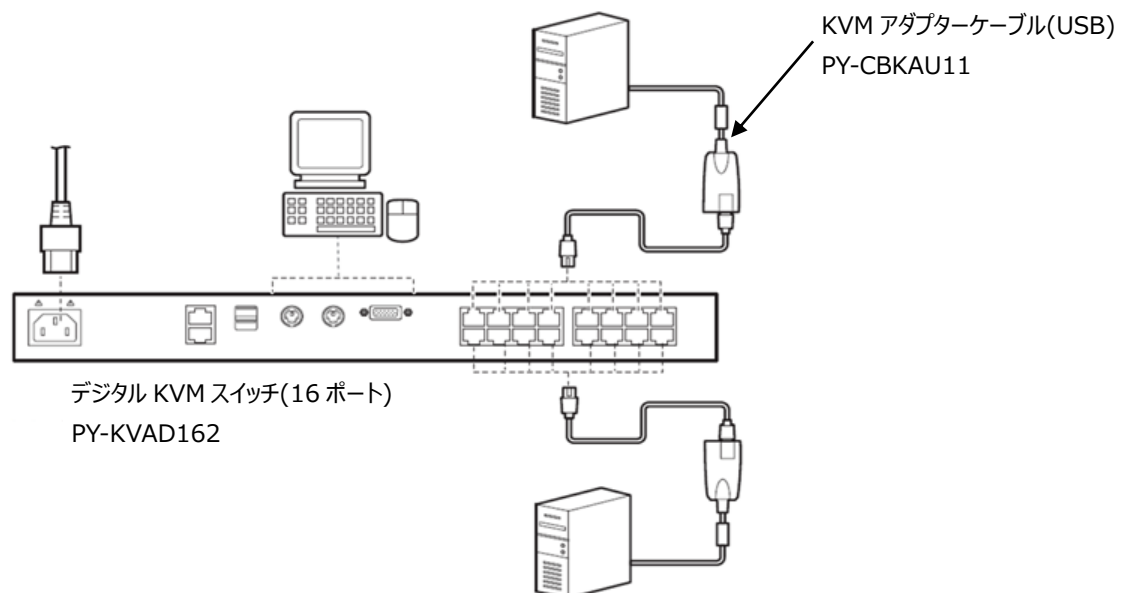
名称	型名	仕様・適用
		デジタルKVMスイッチ (16ポート) [PY-KVAD162]
KVMアダプターケーブル(USB) 図5を参照	PY-CBKAU11	本装置とサーバ本体(USBインターフェース)を接続するために必要な専用KVMアダプターケーブル (接続サーバ台数分必要) ※ ツイストペアケーブルは、アダプターケーブル本数分必要です。 ※ カスケード接続時にも本ケーブルを使用します。
ツイストペアケーブル (カテゴリ5e)	TPALB015C TPALB030C TPALB050C TPALB001M TPALB002M TPALB003M TPALB004M TPALB005M TPALB010M TPALB015M TPALB030M	KVM アダプターケーブル 1 本につき、1 本必要。 ※30M 以下のケーブルのみ使用可能です。 各ケーブルに関しては、システム構成図をご確認ください。
ツイストペアケーブル (カテゴリ6)	TPBLB015C TPBLB030C TPBLB050C TPBLB001M TPBLB002M TPBLB003M TPBLB004M TPBLB005M TPBLB010M TPBLB015M TPBLB030M	KVM アダプターケーブル 1 本につき、1 本必要。 ※30M 以下のケーブルのみ使用可能です。 各ケーブルに関しては、システム構成図をご確認ください。
電源ケーブル	PY-CBP102 PY-CBP103 PY-CBP104 PY-CBP105	100V対応電源ケーブル (NEMA 5-15P準拠) プラグ。 ケーブル長は、上から3m/0.5m/1m/1.5m。 各ケーブルに関しては、システム構成図をご確認ください。
電源ケーブル	PY-CBP201	AC200V対応電源ケーブル (NEMA L6-15) 丸型プラグ。 UPSに接続可。 ケーブル長は3m。 各ケーブルに関しては、システム構成図をご確認ください。



図 5 KVM アダプターケーブル(USB)

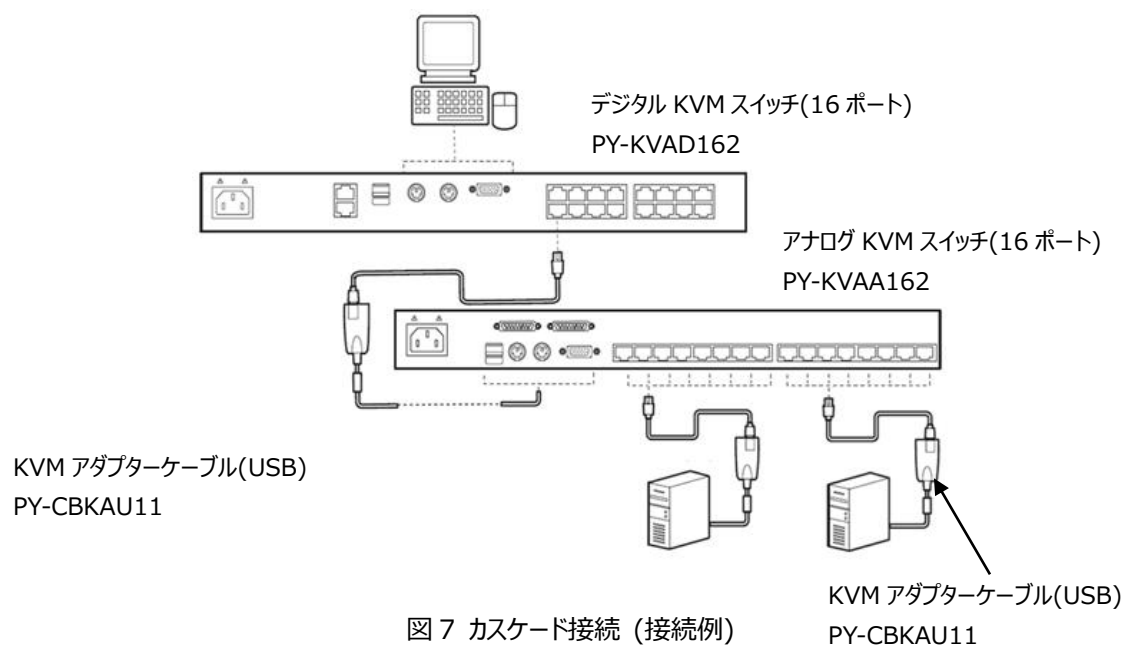
7. 接続形態

単体構成



- 従来モデルの KVM スイッチ(PY-KVAD08/KVAD16/KVAD32、)と PY-KVFA04/KVFA08 の混在接続はできません。
- KVM アダプターケーブルには必ずツイストペアケーブルの手配が必要になります。

カスケード接続



- 従来モデルの KVM スイッチ(PY-KVAD08/KVAD16/KVAD32)との混在接続はできません。
- カスケード接続用ケーブルは単体構成同様 KVM アダプターケーブル(USB)を使用します。
- 本装置同士のカスケード接続は未サポートです。アナログ KVM スイッチのみがセカンダリスイッチとしてカスケード接続可能です。

8. 規格の取得状況

安全規格	IEC 62368-1
電気用品安全法	対象外 (オプション電源ケーブルに関しては適合品を採用)
電波規格	VCCI クラス A
RoHS 指令	対応済み
J-MOSS (日本版 RoHS)	対象外
グリーン購入法	対象外

※本表の規格対応状況は、お客様へ提示可能です。

9. 三面図

PY-KVAD162 (寸法単位: mm)

